

令和2年度(2020)  
学校関係者評価報告書

学校法人 SOLA沖縄学園  
スターウッドBeB美容専門学校

(1) 教育理念・目標・人材育成像		評価
(1) - 1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
(1) - 2	学校における職業教育の特色は何か	4
(1) - 3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	4
(1) - 4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	3
(1) - 5	各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

(2) 学校運営		評価
(2) - 1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	3
(2) - 2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3
(2) - 3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	3
(2) - 4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	3
(2) - 5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
(2) - 6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
(2) - 7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
(2) - 8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

(3) 教育活動		評価
(3) - 1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
(3) - 2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
(3) - 3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
(3) - 4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
(3) - 5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
(3) - 6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
(3) - 7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
(3) - 8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
(3) - 9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
(3) - 10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
(3) - 11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
(3) - 12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4
(3) - 13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
(3) - 14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

(4) 学修成果		評価
(4) - 1	就職率の向上が図られているか	3
(4) - 2	資格取得率の向上が図られているか	4
(4) - 3	退学率の低減が図られているか	4
(4) - 4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
(4) - 5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(5) 学生支援		評価
(5) - 1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
(5) - 2	学生相談に関する体制は整備されているか	3
(5) - 3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
(5) - 4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
(5) - 5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
(5) - 6	学生の生活環境への支援は行われているか	3
(5) - 7	保護者と適切に連携しているか	4
(5) - 8	卒業生への支援体制はあるか	3
(5) - 9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
(5) - 10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

(6) 教育環境		評価
(6) - 1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
(6) - 2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	4
(6) - 3	防災に対する体制は整備されているか	3

(7) 学生の受入れ募集		評価
(7) - 1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
(7) - 2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
(7) - 3	学納金は妥当なものとなっているか	4

(8) 財務		評価
(8) - 1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
(8) - 2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
(8) - 3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
(8) - 4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

(9) 法令等の遵守		評価
(9) - 1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
(9) - 2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
(9) - 3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
(9) - 4	自己評価結果を公開しているか	4

(10) 社会貢献・地域貢献		評価
(10) - 1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
(10) - 2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
(10) - 3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

(11) 国際交流（必要に応じて）		評価
(11) - 1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	
(11) - 2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	
(11) - 3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	
(11) - 4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	

## 令和2年度 学校関係者評価委員会 自己点検・評価

### ○ スターウッド BeB 美容専門学校

#### 1. 概要

職員による自己点検・評価アンケートは、文科省推薦の全国専門学校教育研究会策定の「自己点検・評価作成マニュアル」を基本に、9月30日全職員を対象に実施し、その結果を学校ごとに分けて集計を行った。

また、3月に学内評価委員会により、自己採点評価を行い、評価項目内容について改善すべき事項を抽出し、総合的に評価を実施した。

#### 2. 主な内容

##### (1) 教育理念・目標・人材育成像

在校生に対しては、学生のしおりに記載し、4月のオリエンテーション時に配布し周知を行っている。

教職員に対しては、年度当初の全職員会議にて学校運営基本方針の周知を図り、また新任職員に対しては研修会を行い、専門職としての心構えや、職場のチームの一員として働くための、周囲との関わり方を習得させている。今年度、職員夏季研修では沖縄県職員による出前講座「SDGsについて」の講座を行い、今後社会で求められる、持続可能な発展を行うための専門学校の在り方について学んだ。

学外の方には、学校パンフレット・学校ホームページに記載、適切に公表している。

改善点として、職員から、必ずしも高い評価は得られておらず、研修会等の充実を行う必要がある。

##### (2) 学校運営

運営方針や事業計画について、学校パンフレット・学生のしおり・学校ホームページ上で明記している。また、各学科保護者会を通じて、学校の年間計画・活動、実績報告・運営状況を伝え、ご理解いただいている。

教育活動については、教育課程表を、学生のしおり・学校ホームページに掲載、シラバスは学校ホームページに掲載しており、情報公開を行っている。

改善点として、校務分掌の適切な運営を図るための人事配置や校務運営委員会の定例化、各学科との連携を密に行う等、さらなる改善が求められる。また、情報システムについて業務の効率化を図るため、入試・学籍・学納金等、学生管理の一元化するシステムの導入を進めている途中である。

### (3) 教育活動

教育課程について、年2回の教育課程編成委員会を設置し、有識者・企業等委員からの意見を取り入れ、職業教育に特化した教育課程の編成に繋がっていることが評価されている。

授業評価を ABCD の4段階評価であったものを、今年度から S 評価を含めた5段階評価とした。

カリキュラムに必要な人材確保を行い、今年度は教育課程表に沿った教育活動の実施を行った。教職員の専門性や指導能力の向上を行うため外部機関が実施する学科関連の学会や研修、専門学校主催研修、各種コンクール等には積極的に参加を進めているが、今年度新型コロナウイルス感染症の影響により、各種大会や研修会等の中止・延期が余儀なくされたため、次年度は職員の技能・指導力向上に努めなければならない。

また、新型コロナウイルスの影響による非常事態宣言のため休校期間があり、学生の学びに支障が出たため、特に遠隔システムの弱さが浮き彫りとなった。現在、校内通信環境の整備、遠隔授業可能な施設設備の導入を行い、次年度から遠隔授業の実施を行う。

今年度新型コロナウイルス感染症の影響により、協会主催の研修会が軒並み中止となったため、教員の職員研修のため外部から講師を招き校内で研修会を実施した。

### (4) 学修成果（令和2年度）

今年度の就職・資格取得・退学については、集計が年度途中のため、次年度の学校関係者評価委員会で報告とする。

#### ① 就職率（令和2年度実績）

美容師学科（16名）	100%
------------	------

#### ② 資格取得率（令和2年度）

美容師学科（16名）	美容師国家資格	87.5%
------------	---------	-------

#### ③ 退学率（令和2年度）

美容師学科（1名）	2%
-----------	----

退学率は今年度、全学生の5%未満（25名以下）を目標としており、退学防止対策委員会が設置された。また、次年度から組織として同窓会を立ち上げ、卒業後のキャリア形成について学校と連携して企画運営していく計画である。

美容師国家試験の合格率向上に伴い、専門実践教育訓練講座として認定され、今後社会人の新しいキャリア開拓として厚生労働省から補助を受けて受講できるようになった。

#### (5) 学生支援

担任制を採用し、日常的な面談を実施している。また、教育相談室を開設し、学生の相談・メンタルケアを行っている。教職員の連携として学科長会などで学生指導の状況報告などを通じて情報共有を図っている。学生面談記録や指導記録は文書化され保管されている。

入学前においてはオープンキャンパス・体験入学・学校説明会で生徒及び社会人、保護者の方々に対して、学校の特性や教育理念など明示され人材育成に関する将来像を説明している。

#### (6) 教育環境

施設・設備については、先ほど述べたように校内ネットワーク環境を強化し、遠隔授業に取り組みよう整備を進めているところである。その他、施設設備の老朽化、機器や備品の故障等の対応を随時行っていく計画である。

学外の研修について、美容師学科 1 年生の美容実習インターンシップが滞りなく実施された。

#### (7) 学生の受入れ募集

校務運営委員会による学納金の見直しが行われ、他校と比較し、妥当な学納金の設定が行われた。学生募集については、オープンキャンパスや学校説明会でパンフレットを配布し、丁寧な説明を行っている。また、経済的に支援が必要な学生については、奨学金情報の周知徹底を行い、学ぶ機会の継続に努めている。

#### (8) 財務

学校財務について、長期的なビジョンを基に、中期的計画、短期的計画を立案し、計画に沿って実施を行っている。年度予算編成及び執行については、規定に基づき対応されている。

財務情報については、学校ホームページ上で公開を行い、適切に外部監査を受けている。

#### (9) 法令等の遵守

各種専修学校設置基準を遵守し、各学科主管のガイドラインに沿った適正な運営を行っており、組織的に自己点検・評価委員会を継続的に実施している。また、学校関係者評価委員会報告書や職業実践専門課程報告書の公開を、学校ホームページ上で行っている。

#### (10) 社会貢献・地域貢献

各業界団体との連携を行い、ネイリスト検定、アロマテラピー検定、パーソナルカラー検定、AWP 検定の試験会場校として実施を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、協会主催の技術大会が中止となったため、校内技術大会を行った。例年行われているスターウッドヘアショーを10月17日(土)に感染症対策を行い実施した。

また、2月22日にオンライン技術大会へ参加しワインディング・メンズセット・デッサンを競った。全国より14校が参加した。

改善点として、学外から積極的に公開講座や学園祭等、身近に学校へ足を運べるようなイベントの実施を行いたい。

#### (11) 国際交流(必要に応じて)

次年度10月開講する日本語別科での留学生受け入れ、各学科留学生受け入れ態勢の強化に取り組むため、国際交流に向けた具体的な取組について立案していく必要がある。